

## 9 幼稚園教育

### 峰山幼稚園

教育目標：主体的に活動し、健康な心と体で生きる力を持った幼児育成

経営方針テーマ：生きる力を育む幼児教育～ふれあい・つながり・ささえあい～

重点研究〈研究主題〉

「人・もの・自然みんな大好き みんな大切」

- (1) いろいろな人やものとの関わりを通して協同する力を育む
- (2) 人の話をしっかりと聞き、自分の思いを言葉で伝える力を育む

### 網野幼稚園

教育目標：幼児自らが意欲的に環境にかかわり、心豊かでたくましく生きる力を育てる。

経営方針テーマ：『どきどき わくわく きらっ！！～ひとりひとりがかがやいて～』

重点研究〈研究主題〉

幼稚園において、様々な体験を通して幼児一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性を育むためにはどのような環境の構成や保育者の関わりが必要か。

- (1) 言葉力の育成 ー聞く・話す・伝え合う・相手の思いに気づくー
- (2) 元気な体・たくましい心 ー食育ー

### 丹後幼稚園

教育目標：いきいきと遊び心豊かでたくましい子を育成する。

経営方針テーマ：一人ひとりが生き生きと活動し「楽しんで、広がれ！つながれ！みんなのえがお！！」

重点研究〈研究主題〉

異年齢との関わり、連携を通して心豊かな体験を行う。

「楽しんでひろがれ！つながれ！みんなえがお！！」

- (1) 一体化施設の活用、長所の探求
- (2) 楽しんで体験を広げる中での取り組み

<教育目標> 「主体的に活動し、健康な心と体で生きる力をもった幼児の育成」

<研究主題> 「ひと・もの・自然 みんな大好き みんな大切」

～色々な人やものとのかかわりを通して、協同する力を育む～

<平成23年度の教育の重点>

実践内容と成果

- 1 「ふれあい・つながり・ささえあい」～自己の発揮と協同性の育成～自己肯定感を育て友達と協同する活動体験
  - 多様な他者との出会いの機会設定○幼児が主体者となる遊びと生活の充実○異年齢交流保育の充実
  - ・多様な体験活動で多くの人と出会い、様々な感情を味わい、人と関わる力や自己発揮の基礎の力となった。
  - ・主体的な遊びが発展する環境を用意し、運動会等ではグループ活動も多く取り入れたことで、友達と共通の目的をもち遊ぶ姿が多く見られ、その中で葛藤やつまずきも体験し、自分たちで解決しようとする機運や規範意識が芽生えてきた。
- 2 「泥んこ太陽は友達」～自然体験活動の充実推進～ 豊かな感性と知的好奇心、運動能力、体力の向上
  - 米や野菜、花の栽培による食育推進○園庭の環境構成の工夫○森の幼稚園活動○飼育○裸足の奨励
  - ・野菜栽培を行い、種蒔きから始め、また個々で管理した事等で愛着や関心が強くなり育てる喜びに繋がった。
  - ・園庭の環境を十分活用した事や、園外活動により、戸外活動を好み、自然に対する興味関心も強くなった。
  - ・合鴨の死や孔雀の誕生等を体験し、命の持つ意味について、幼児なりに深くとらえる事が出来つつある。
- 3 「言葉で握手・育てよう言葉の力」～言語力向上の取り組み推進～しっかり聞き自分の思いを言葉で表現する力育成
  - 挨拶の奨励○感動体験の構築○伝え合う喜びや発表の機会の設定○絵本物語に親しむ機会の工夫
  - ・絵本や物語に親しむ機会を多く設定し、「絵本大好き大作戦」「ノーテレビデー」「絵本の回覧板」短歌作り、紙芝居作り等多様な言語遊び活動の実施、感動体験の機会や話し合いや発表の機会の設定等により、子どもの本好きが進み、言葉による表現力や発表力が向上し日常会話の語彙も増え豊かな表現が増えてきた。
- 4 「親も子も育ちあう幼稚園」～保護者地域から愛され、信頼される幼稚園～家庭の教育力向上、地域との連携
  - ・幼稚園開放は幼稚園理解に繋がり、園児にとっても未就園児と交流する機会となった。
  - ・PTAとも連携した行事や奉仕活動、学習の機会が保護者同士の交流や情報交換、子供理解に繋がった。



# 「どきどきかくかく きらっ 一人一人がかがやいて」

## <教育目標>

幼児自らが意欲的に環境にかかわり、心豊かでたくましく生きる力を育てる。

## <研究主題>

幼稚園において、様々な体験を通して幼児一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性を育むためにはどのような環境の構成や保育者のかかわりが必要か。

～さまざまな人とかかわり、触れ合い、つながりあうために～

### (1)言葉力の育成—聞く・話す・伝え合う・相手の思いに気づく—



先生の話を聞いたり、また自分の思いや考えたことを、みんなで話し合う。聞く姿勢を整えてから話すようにしている

高齢者大学の方たちと交流してお話したり、一緒に遊んだりします。いっぱいお話を聞いてくれて有難う!!



挨拶や自分の思いを話したり、質問されたりすることに答える力などが育ってほしい。また自分の思いばかりでなく相手の思いにも耳を傾けることができるように

- 朝の会での話し合い ●当番活動で人の前に出て話す経験
- 生活やトラブルの中での言葉での解決 ●自分なりの言葉で話す子どもたちをしっかりと見守る ●伝えた時には十分認めたり子供の話に共感したり受け止める ●活動や体験の後には振り返りの時間をもち ●自分から言いたいな聞いてほしいなと思える子供から指名する ●遊びの中に積極的に参加し子どもの思いや言葉や発見に耳を傾け、会話をしたの言葉に具現化する ●クラスのみんなに気づきを知らせる。 など巨匠として取り組んだ。

発表会。桃太郎から、みんなで考え意見を出し合ってイメージチェンジ。(たこ焼き太郎)ができました。おもしろいねえ。

### (2)元気な体・たくましい心—食育—

元気な体は毎日の生活や活動から培われます。



毎朝のマラソンや体操、砂場や泥んこ池での遊び、キッズサッカーで走り回るのも大好き。

ダンゴムシやでんでんむし、他にもいっぱい虫が出てくる「うんどうかい」は、自分たちでお話をイメージしたオープニングがとっても素敵!!リズム運動の「青虫」も取り入れて、みんなでわっしょい!わっしょい!頑張れ、力を合わせて。

初夏、夏野菜の苗を買いに苗屋さんへ出かけ、秋の収穫を夢見てのサツマイモのツル差し、マリーゴールドの種まきや玉ねぎうえなど年間を通して植物の栽培や収穫もして、食べることも楽しんだ。



体を動かすことが大好き!な子ども達にしたいとさまざまな運動遊びを取り込んだ。頑張ったり、上手にできた時には大いに褒める、保育者も一緒になって運動遊びを楽しむようにも繰り返した。

元気な体に、健全な心が育ち、おなかがすいて食事が進むようになるだろうと考えた。

#### \*\*\*反省・課題\*\*\*\*

- 多くの子どもが自分の思いを言葉で表現できるようになった。特に想像やイメージをお話にしたり、活動に対する感想や思いなどを話す力がついてきた。
- 運動遊びをする中で、新たな自分の力に気づき、自信や自己肯定感を感じる子供が多かった。それが苦手な食事へもつながる場合も多かった。
- 相手の思いになって発言することができない子どもや緊張感が強く大きな声で発表することが苦手な子どももまだいる。

※子どもの発達の状態や課題を明らかにしながら、今後もの確かな支援を進めていくと同時に、小学校との連携を深め、継続的な指導が必要である。



自分で目標を立ててやりきる竹馬や縄跳び。いっぱいまめを作りながら最後までやりきった。

【教育目標】 ◎生き生きと遊び心豊かでたくましい子の育成

【研究の重点】 1 一体化施設の活用・長所の探求

2 楽しんで体験を広げる中での取り組み

異年齢との交流・地域とのつながり・家庭、学校との連携を通し、いたわりや優しさ、思いやりの心を育む心豊かな体験をする。

【テーマ】 一人ひとりが生き生きと活動し“楽しんでつながれ ひろがれ みんなの笑顔！”

近年、世代間の断絶による問題点が指摘されている。年長児が小さい子の面倒を見たり、小さい子が年長児に憧れ、見て学ぶなど伝承的な育ちができにくい状況が見受けられる。

当園は保育所が併設され、0歳から5歳までの年齢差のある子ども、幼稚園児と保育所児の交流が他の幼稚園と比べて、しやすい環境にある為、異年齢児との交流を中心とした取り組みを今年度の課題として行う。また、幼児の小学校入学以降の生活や学習の基礎の育成につながる主体的な生活態度の基礎を培い、将来を担う子ども達の健やかな成長を支え、生涯にわたる人格形成の基礎を培う為にも追求していきたい。また核家族、少子化、近隣関係の希薄化等の問題があり、家庭における子育て力や地域の子育て機能が低下している。そのため、子どもに関わる関係機関、園内はもちろん、家庭、地域との連携のもとに、交流の機会、場所作りを推進する。また、京丹後市初の幼保一体化の取り組みの為、一体化施設の長所を見出し、スムーズな運営について取り組む。

【異年齢交流】

・手をつないで散歩に行きました。

優しく握ることや歩く速さを考えることができるようになりました。

◎あいがも放鳥

・あいがもの仕事についてタケチャンファームの野木さんからお話を聞きました。

◎いちがお園との交流

・園児の歌や遊戯を見てもらったりふれあい遊びを楽しみました。



【PTA活動】

◎ママのおしゃべり会

子育てについて話をしたり、月1回お母さん達に絵本を読んでもらいました。

◎PTA親子チャレンジ

弥栄町須川にて川遊び体験・パーベキューでクッキングを楽しみました。



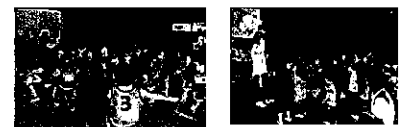
◎親子遠足

あじわいの郷でゲームやウォークラリーをしました。



◎サッカー教室

サッカー協会の方に来ていただき、ゲームなどで楽しみながらルールやボールの扱い方を教えていただきました。



【学校との連携】

体験入学・体験授業や行事の参観・先生の来園で“話を聞くことの大切さ”や“学校って楽しいな。”を学びました。

中学校とは浜掃除の連携をしました。



◎絵本の読み聞かせ

先生やボランティアの方などたくさんの方に絵本を読んで頂きました。子ども達は、絵本が大好きいろいろな話が集中して聞けるようになってきました。

